

プロローグ

ありのまま……

そのままが……

美しい。

2011年の春のこと、睡眠中に、真つ暗な空間、宇宙空間のような場に、私の意識だけが肉体から離され、引き上げられ、グルグルと回転し、浮遊し……。

そして、浮遊しながら『ありのまま……そのままが……美しい』という一つの言葉をずっとずっと聞いているということが起きました。

それは、そう、言葉というより、音律、メロディー、エネルギーという何か流れているような感覚のモノで、その流れによって意識だけという状態の私が、何も無い空間の中でただ繰り返し、何かの力によって回されていたという出来事でした。

翌朝、目が覚めると、なんとも表現できない、不思議な感覚、自分のすべてが膨張したような感覚が、体に、胸に、頭に残っていました。

さて、突然、話は変わりますが、

私は、子供のころから、「自分らしい」という言葉が大好きでした。

卒業アルバムの寄せ書きには、必ずこの言葉を使っていました。

「私は私、自分らしく生きたい」「自分の道、自分らしく生きる」などと。

このように、幼きころから一貫していて、この「自分らしい」という言葉に魅了され、このイメージを追い求めつづけ、ある意味、ブレない私で生きてきました。

そんな私に宇宙は、『ありのまま……そのままが……美しい』というメッセージを贈ってくれたのです。

そのメッセージを受け取ったころの私は、「自分らしい」というモノを追いかけることに、頭や心、時間を使えるほどの余裕はなくなっていました。

なぜなら、2007年ごろから予期せず始まってしまった『スピリチュアルの目覚め』というプロセスの中にいて、すべてがまだ混乱の真ただ中にいたからです。

「これが自分らしいというモノだろうか？」

「いやっ、これは、自分らしくないな〜」

「こんな仕事は、自分らしくない！」

「もっ自分らしく生きたいよ！！！」

「自分らしく生きる！！！」

「自分らしく生きるっ！！！」

「自分らしく生きたい！！！」

そんなふう生きてきた私の内側で、「自分」そのものが崩壊してしまうという流れが起きていて、それと同時に「自分らしい」なんていう幻も、願望も、追求も、泡と消えてしまい、それまでのセルフイメージというモノが薄くなりつつあるというタイミングだったのです。

『ありのまま……そのままだが……美しい』

このメッセージが持つ、深く、広大な愛のエネルギーを少なからず感じられるようになるのには、そこから、数年を必要としました。

そして、このメッセージを自分自身の中に取り込み、自分自身と統合することができるようになって、鼻息荒く「自分らしく生きるうゝ、自分らしくないと嫌だあゝ」と生きていたのは、ある意味、そのときの「自分らしさ」でもあったのだと微笑ましく思えるようにもなりました。

しかし、「自分らしい」という言葉を乱用していたころの私にとってその言葉の意味はやはり、確固たるモノを持たず、常に、常に、何かを探し求めなければいけない気分になるスローガンであり、掴んでは消える儂きモノへの焦りを伴う執着であり、今を否定する心が、新しいモノを求めることを正当化させるために叫んでいた合言葉のようなモノだったのだという気づきもいただきました。

宇宙と私が呼んでいる人智をはるかに超えた、大いなる叡智は教えてくれました。
今のままを……そのままを……今、この瞬間のすべてを……。

美しき自分自身の表現だと肯定して生きている姿……。

その瞬間瞬間に『愛』や『感動』や『感謝』を選び、生きている在り方……。

これが『本当の自分らしさ』なのだ。

『ありのまま……そのままが……美しい』

あの空間に誘われ、この音律の中にいた無我の（エゴのない）私こそが、『ありのまま』であり、『そのまま』であり、『美しさ』であり、『本当の私』『本当の私らしい姿』だったのではないかなと思っ今日このごろです。

そして、そんな気づきを手に入れた私は、あの幼きころより切望していた、「自分らしく生きてい！！！」という願いも、すでに、叶えていたのだということも知りました。

本当に、人生とは、ちゃんとなっています。

と、私のお話はここまで。

次は、あなたの番です。

本書は、私が、宇宙の叡智と呼ぶ、目に見えない領域から受け取りつづけた膨大なメッセージで溢れています。

それは、主に、ブログという形で公開してきた『スピリチュアルレッスン』『スピリチュアルメッセージ』をまとめ、さらに、パワフルなアップデートを加えた『気づき』という名の宇宙からの視点です。それらの『気づき』をヒントとしてご利用いただきながら、もつと肩の力を抜いて、ハートを開いて、生きる。という遊びを私と一緒にしませんか？

まずは、リラククスして始めましょう!!

誇り高く、美しく輝いた、純粋な笑顔で、『生きるって、本当に面白い!!』と悦びに震えながら、生きているあなたに出逢うために!!!



《真の私という純粋性》